

憂国呆談

season 2 VOLUME 22

浅田 彰

photographs by Hiroshi Takooka text by Kentaro Matsui

田中康夫

尼崎の宅幼老所に見る
少子高齢化社会のあり方、
気象庁の津波予測、
休眠口座の活用法まで！

兵庫県尼崎市にある『あゆみのいえ』は、
高齢者と幼児がともに過ごす“宅幼老所”。

これから時代に不可欠な、
地域に密着した「コミュニティ施設のあるべき姿を提示している。
くつろいた時間を過ごした両氏だったが、
新党日本尼崎支部へ移動する車中からすでに
憂国呆談の幕は切って落とされた。

今月の憂いゴト



幼児も、若者も、高齢者も、承認しあつて生きる社会

浅田 田中さんが以前から応援しておられる市内の宅幼老所「あゆみのいえ」を訪れた児たちと一緒に過ごしてるところは、「施設」というより「家」という感じで、いい雰囲気だったよ。老人にとっては、身近に子どもの姿を見るだけで楽しいだろうし、少しは幼児の世話をしても、自分が世話をされるだけの存在じやないと感じられる。幼児にとつても、老人と触れ合っては貴重な体験だし、少しは手を引いたりして、役に立った気にもなる。もちろんスタッフは大変だろうけど、画一的な大規模施設より働き甲斐があるんじゃないかな。こういう宅幼老所は高齢化対策であると同時に少子化対策にもなるのに、厚生労働省はなんで積極的に進めないんだろうね。

田中 「憂国呆談」の以前からの愛読者はご存じだとと思うけど、知事時代に県独自の事業で県下350か所に宅幼老所を開設したのね。当時、国の補助金は新築が条件。だけど、新たに立派なハコモノを造るのでなく、既存の商店街の仕舞屋や住宅街の家屋を改修して、地域分散型であつて世代分断型でない「老保一元化」の福祉を目指した。ところが、100平方メートル以上だと消防法の規定で防火装置を取り付けたり、初期投資に数百万円が必要。その費用を県が出したんだ。

で、増税に猪突猛進する最近の民主党幹部の言葉を借りれば3回目の選挙で県民の51%から「退学処分」を受けて（苦笑）、参議院議員、衆議院議員になつて以降、国レベルで制度化すべきと厚労省に働きかけ

市内の宅幼老所「あゆみのいえ」を訪れただけの存在じやないと感じられる。幼児にとつても、老人と触れ合っては貴重な体験だし、少しは手を引いたりして、役に立った気にもなる。もちろんスタッフは大

変だろうけど、画一的な大規模施設より働き甲斐があるんじゃないかな。こういう宅幼老所は高齢化対策であると同時に少子化対策にもなるのに、厚生労働省はなんで積極的に進めないんだろうね。

田中 「憂国呆談」の以前からの愛読者はご存じだとと思うけど、知事時代に県独自の事業で県下350か所に宅幼老所を開設したのね。当時、国の補助金は新築が条件。

たのね。当時、国の補助金は新築が条件。だけど、新たに立派なハコモノを造るのでなく、既存の商店街の仕舞屋や住宅街の家屋を改修して、地域分散型であつて世代分断型でない「老保一元化」の福祉を目指した。ところが、100平方メートル以上だと消防法の規定で防火装置を取り付けたり、初期投資に数百万円が必要。その費用を県が出したんだ。

で、増税に猪突猛進する最近の民主党幹部の言葉を借りれば3回目の選挙で県民の51%から「退学処分」を受けて（苦笑）、参議院議員、衆議院議員になつて以降、国

て、ようやく昨年に実現した。でも、保育を担当する雇用均等・児童家庭局とデイサービスを担当する老健局の2局にまたがるから、自治体への周知が不十分で、開設を希望する事業者が問い合わせても要領を得なかつたりしている。あゆみの家は、「ソフトコト」を定期購読していく田井尚美さんが一昨年に自力でこぎ着けた兵庫県で第1号の宅幼老所。バスで出かける遠くの施設でなく、サンダル履きで気軽に訪れるられる地元のコミュニティースペースだから全国に広がつてほしいね。

浅田 世代を超えた交流つてことでは、少年犯罪の更生施設でやつての老人ホームへの訪問

浅田 世代を超えた交流つてことでは、少年犯罪の更生施設でやつての老人ホームへの訪問



も幼児も、あるいは問題を抱えた少年も、ひとりの人間として承認されることの大切だ、と。たとえば「アラブの春」だつて、経済的な不平等と失業のせいだ若者が立ち上がつたっていうけど、同時に、国民ひとりひとりを人間として認めず、独裁者たちが勝手にやつてる、そのことへの怒りがあればどの叛乱を生んだんだと思う。その意味でも、互いの価値を承認しあうことから世代間交流が始まり、人間形成がなされるとしたら、それはとても大事なことだ思うよ。

そういう意味では、「ピナ・バウシュ夢の教室」つていうドキュメンタリー映画が素晴らしいかった。ピナに「コンタクトホー

リ宿」つていうダンス

シアター作品があるんだけど、ダンス経験のない

ミドルティーンの子どもたちを集めて1年近くワーカショットを重ねながら

らその作品を公演するところまでいくの。

男女が相手が服をぬぐように仕向けるため自分で服をぬいでいくとか、ひとりの女性

を慰めようとして男性たちが髪をなでたり

してあるうちみんなで触り倒して暴行みたいになつちやうとか、かなりきわどい場面を含む作品で、日本の教育委員会なら拒否反応を起こしそうだけど、子どもたちにイン

フォームド・コンセントをとりながら徹底してやらせていくわけね。その過程で子どもたちが人間的にぐんぐん成長して、ロマ

（ユーロスラヴィア紛争を逃れてきた難民の

子がいたり、それがみんな誇りをもつて自

分のことを語るようになる、その姿は感動

的だよ。ピナはその前に「コンタクトホーフ」を70歳以上の老人だけで上演する試みもやつて。老人と子どももつてことで思出したんだけど、すごく面白い実験だと思うね。

実は、いま日本ではヴィム・ヴェンダーがピナの死後すぐに撮った「PINA」つていう3D映画も上映して、ダンサーたちの記憶が鮮明なうちにピナのダンスが記録されたのは意義深いことだけど、どうも3Dつていうチャチャなからくりが（アバター）や『HUGO』みたいなファンタジーならともかく）ピナの作品のプレゼンスに合わない気がする。僕としては子どもたちのドキュメンタリーのほうを推すね。

田中 残念ながら日本では「教育委員会派」と「反教育委員会派」の不毛な2項対立で思考が止まつてたからね。

浅田 ともかく、少子化が大問題だと言

つづ、日本じゃ現実的な対策がいつこうに進んでない。フランスも一時期、出生率

がかなり落ち込んでたけど、少子化対策に力を入れた結果、合計特殊出生率が2・0を超えた。カトリック国だからっていうけど、他のカトリック国じやそうなつてない

わけで、政策の効果は明らかだと思う。託児所を充実させるのはもちろん、「保育ママ」つていうフリーの保育者が共働きの家庭で子どもの世話ををする在宅保育サービス

制度があつて、保育者に支払う金額の半分ほどを国が補助する。日本もそういうきめ細かな対策を徹底していくべき、変わつてくはずだ。その前に、若いカップルが子どもを産み育てられる経済的条件を整えることから出発しなきやいけないけど。

田中 パリ市長のベルトラン・ドラノエも「保育ママ」を増やしたんだよね。そう言



えば知事時代に、パリ郊外の人口約500人のブレシー・シュル・マルヌ村で村長を務めるシャンソン歌手のイヴ・デュティユとガラス張り知事室で対談して、その後にヴァカンスで今度の妻と一緒に訪れたら、既に「保育ママ」を導入していた。

浅田 ちなみに、たまたまパリのドロノエ市長とベルリンのクラウス・ヴォーヴェライト市長はゲイとしてカム・アウトしているんで、ヨーロッパ社会の現状を象徴してるね。アメリカなんかの右翼は、そうなると家庭が崩壊して少子化が進むつていうんだけど、適切な政策を講じればそんなことはないわけだ。

田中氏が提唱していた「休眠口座」の使い途

田中 2年前から都合7回、本会議や予算委員会で質し続けてきた休眠口座の問題が、ようやく動き出した。

国民の側も脱原発のためなら多少は耐えられるが、その額は平成22年3月期に、3大金融機関の不労所得となり、利益として計上されていて、その額は平成2年3月期に、3大スマバンクだけでも303億円、その他の銀行が460億円、信金、信組、労金で122億円。合計885億円。

農水省所管のJAバン

ク、JFマリンバンク

は未だ調査中で未公表。

毎年1000億円近いんだよ。

定額郵便貯金の場合

は20年を経過した時点で預金者に催告を行って、2か月経つても払い戻し請求がないと便貯金法第29条を引き継いだ郵便貯金・簡易生命保険管理機構法第25条にも書かれていて、22年度は234億円が国庫に繰り入れられた。まあ、国庫に入れても何に使われるか分からぬけど（苦笑）。

一方、銀行が10年経過した休眠口座を利益として計上する根拠は法律でなく、社団法人に過ぎない全国銀行協会の内規で、「10年経つたら俺たちのもの」と勝手に決めてるからなのよ。それって身勝手じやないかと。だから、ノーベル平和賞を受賞したム

ハマド・ユヌスが創設したバンダラデシユのグラミン銀行を倣って、社会的共通資本として活用するのが賢明なんだよ。グラミン銀行は例えば、織物工場を始めたが先立つものがいるバングラデシュの貧しい女

田中 10年間、出し入れがなかつた口座の預金は金利が立つものがないバンダラデシユの貧しい女

田中 2年前から都合7回、本会議や予算委員会で質し続けてきた休眠口座の問題が、ようやく動き出した。

国民の側も脱原発のためなら多少は耐えられるが、その額は平成22年3月期に、3大金融機関の不労所得となり、利益として計上されていて、その額は平成2年3月期に、3大スマバンクだけでも303億円、その他の銀行が460億円、信金、信組、労金で122億円。合計885億円。

農水省所管のJAバン

ク、JFマリンバンク

は未だ調査中で未公表。

毎年1000億円近いんだよ。

定額郵便貯金の場合

性たちに無担保で融資して、自立を促している。イギリスでも、デーヴィッド・キャメロン首相が「ビッグ・ソサエティ・バンク構想」を唱えて、銀行の不労所得を福祉事業のNPOに支援といった形で還元している。日本にも取り入れて、障害者が作業所を始める、あるいは、地域に根ざしたNPOが活動を広げる時に無担保で融資する原資にすべき。

それに対して、全国銀行協会会長で三菱UFJ銀行頭取の永易克典は「休眠口座なんてフィクションだ。国民の財産を政府が巻き上げていいのか？」と発言していたけど、その発言こそフィクション。毎年100億円もの国民の財産を不労所得として巻き上げていたのは銀行じやないかと、そのまま返したいよ（苦笑）。

そもそも、3大メガバンクは過去15年間、法人税と法人事業税をびた一文も支払っていない。なのに、読者よりも銀行の顔色を窺つて、国民の財産を政府が召し上げてしまふかのごとく報じている新聞社の経済部も何なんだと。

政府も政府で休眠口座を「震災復興のために使う」なんて後出しジャンケン発想じや理解されないよ。休眠口座の活用のために基金を設立してという案もあるけど、それこそ不透明な特別会計みたいに天下りのシロアリがたかつてくる話。日本財團の笹川陽平会長は以前から「休眠預金」を社会的に活用せよ」と主張していて、「休眠口座は独身時代や結婚前に設けられた1万円以下の小口口座が多くを占めるが、その一方で、大口の仮名預金口座も多数、存在する。かつて、動物名を冠した郵便貯金の仮名口座が新聞報道を賑わしたこともある」と世論喚起している。たかが年間1000

億円といつても、国民の共有財産であることは間違いないんだから、国民のために使うのが筋なんだよ。

浅田 休眠口座の解消とも関連して、ここまで情報化が進めば国民総背番号制を導入して所得や資産をクリアにするのがいいんだけじゃないかな。住基ネットの導人に際して、我々が言つたように、国は「プライバシーは絶対に保障される」って言うけど、それは信じがたい。しかし、田中さんは「ペログリ日記」まで情報を公開してるわけだし、我々はプライバシーが漏れても平気といえば平気、そもそも、すでにネットを通じて銀行なりクレジットカード会社なりにどんどん情報をばら撒いてる状況なんだから、できるかぎりのプライバシー保護を条件として国が国民総背番号制で徴収なり年金給付なりを透明かつ公平に進めるならいいだろう。と。低所得者へ戻し税を行うにしても番号がなければ難しいだろうしね。何が何でも消費増税つていうけど、消費税の逆進性を考えても、まずはそうやって所得税や相続税をきちんととるところから出発すべきなんだよ。

ちなみに、グーグルだって個人のウエブ検索履歴やサイト訪問履歴を集約するつていうし、民間企業がほとんどの国民の膨大な個人情報を持っている現況のほうが危険なんじやないかな。

気象庁の津波予測の誤りが被害者の数を増やした？

浅田 東日本大震災から1年が経つたけど、原発事故は後始末のメドさえつかないし、がれき処理にしろ、仮設を超える本格的な住宅建設にしろ、地場産業の立て直しにしろ、復興はほとんど進まないまま。そりや

